

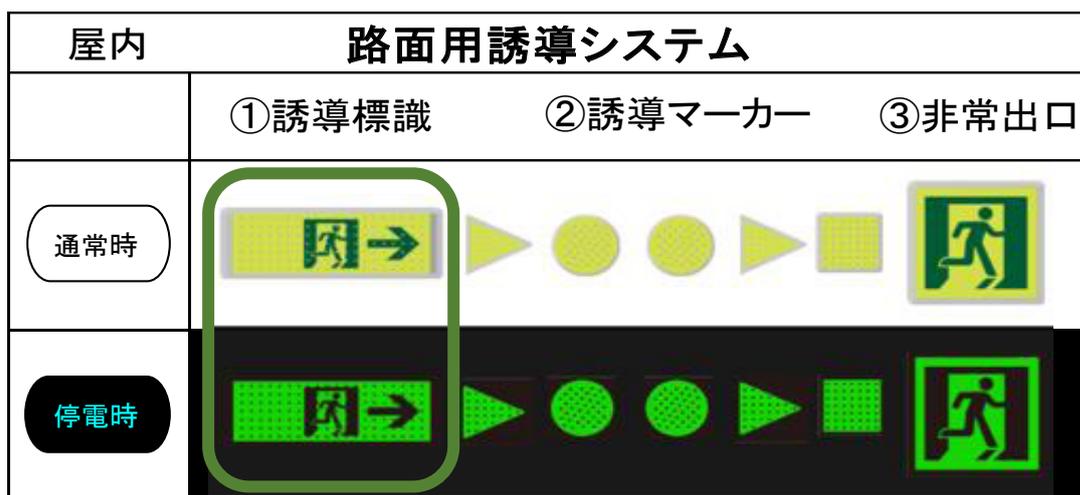
- 消防認定取得品 ■ 京都大学との共同開発 ■ 路面設置型 高輝度蓄光式 避難誘導標識について ■
- 【商品名：ヒカルン】 消防認定番号 HP-049 号（一般社団法人 日本消防設備安全センター）

1 消防認定品を作成するに至る経緯

建物火災では死因の半数以上が逃げ遅れにより、ガス吸引、火傷が引き金となり焼死に至ると報告されています。
床面に避難指示がほとんどない現状であることで製品化に至りました。

2 具体的な内容と必要性(誘導灯の疑問点)

- 令和元年(2019年)11月に、函館市内で発生した建物火災の原因を調査した結果、設置されていた誘導灯から出火したものと判明しました。函館市 HP <https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2019121200020/>
 - 煙が充満している室内で上部に付いている「誘導灯」が確実に認識？できるのか。
(学校の避難訓練では口にハンカチ、低い姿勢で煙を吸わないよう上を見ずに避難する教え)
 - 停電時など「誘導灯」が消灯。平常時、誘導灯は24時間365日通電されエコとはかけ離れている現状。
 - スプリンクラーが放水をはじめて上部に視野を向けるリスク。
 - 豪雨災害・地震対策での避難所の入口や廊下の誘導標識の有無（古い小学校には、ほとんどありません）
- 以上を改善すべく、床面での蓄光式誘導指示が具体策と考えます。
今後、安全に迅速な「避難指示」をシステム化する必要性があると考えます。



3 製品特徴

↑ ヒカルン

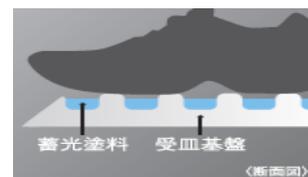
2011年に特許取得（特許第4766598号）

蓄光輝度基準 高い **S50-S100-S200-A50**-A100-A200-B50-B100-B200-C50-C100-C200 低い
当誘導標識の最高輝度は上記 _____ の範囲 研磨試験前は S50 研磨試験後は A50

メンテナンスフリーでランニングコストはゼロ。
既存の床に設置することが出来るので、電源や埋めるなどの追加工事が不要。

バリアフリー構造（製品周囲 0.8mm, 中心凹凸部 3.0mm 以下）

本体はSUS304を使用 蓄光層はエポキシ樹脂で構成 凹凸構造で摩耗からの蓄光機能損傷を防御



お問い合わせ 総括代理店 マルク株式会社 〒042-0942 北海道 函館市 柏木町38-19
担当 工藤康博 090-3777-4488 ✉ 09kabu@gmail.com